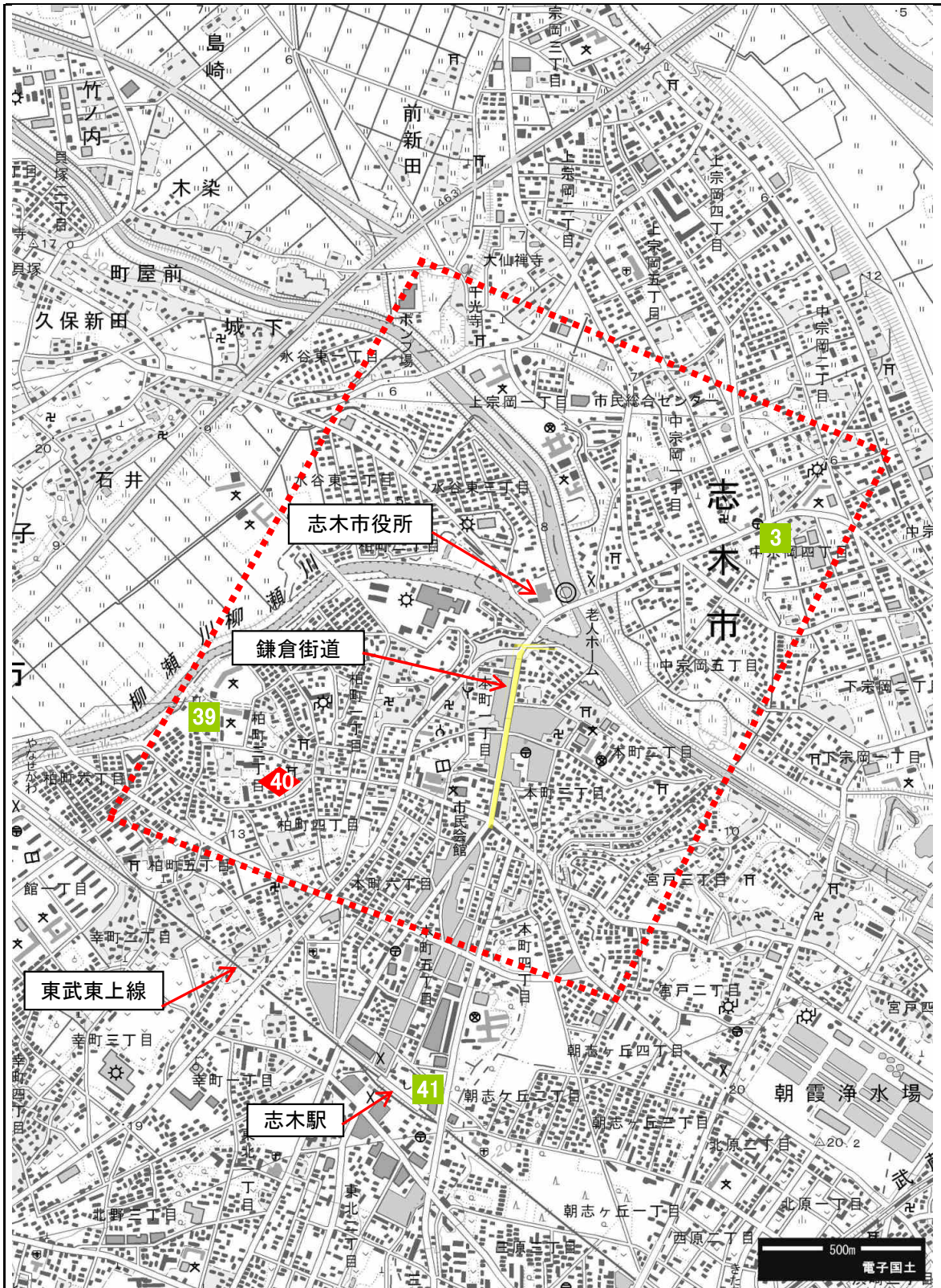


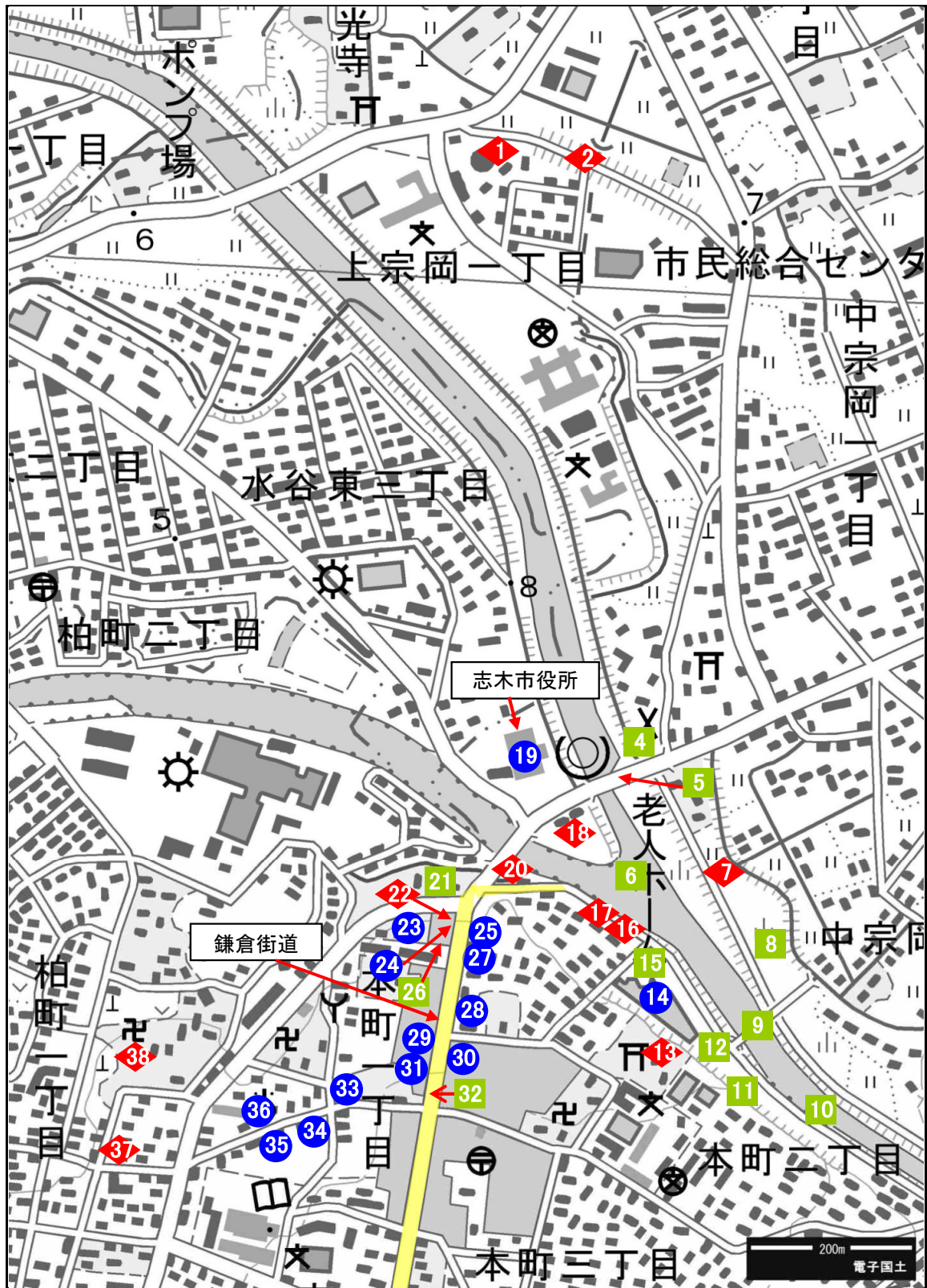
志木



案内図

調査範囲

志木



配置図

凡例



史跡・寺社等



その他の建造物



通り・広場・樹木他

志木



志木の中心部である本町のあたりは古くは引又と呼ばれ、鎌倉と奥州成道を結ぶ街道の宿場、「志木宿」があった。本町には土蔵造りの商家が今でも残る。また江戸時代に川越藩が成立し、新河岸川は、江戸と川越を結ぶ重要な、物の交通輸送路となり引又に河岸場を設けた。

1

道興准后歌碑



郊外の脇通りの傍、植栽の中に石の歌碑が立っている。

2

むじな橋と大小合併門樋



郊外の少し狭い通りの真ん中に小さな古い石橋(むじな橋)が保存されている。金網フェンスの中には、レンガつくりの樋門の一部が見られ興味深い。

3

-1 せせらぎの小径



車道の中央部に綺麗に整備されたせせらぎが流れる。大通り傍にある水の流れ落ちるモニュメントが目を引く。

3

-2 せせらぎの小径



流れ部は石で整備され流れに沿うように石畳が整備された心地よい遊歩道としての景観を形成している。

4

ポケットパーク



いろは橋の橋詰広場に黒く太い鉄管がモニュメントとして設置されている。地域の歴史を感じさせるものとなっている。

5

いろは橋



親柱や欄干がいろは樋などの志木市由来のものでデザインされ、広い歩道も含め親しみのある現代の橋である。

<p>6 -1 柳瀬川と新河岸川の合流</p>	<p>6 -2 柳瀬川と新河岸川の合流</p>	<p>7 水神宮</p>
		
<p>柳瀬川と新河岸川の合流地点は広々とした景観が望め、水の流れは綺麗で人々の憩いの場であると共に鳥たち楽園でもあるようだ。遠くには東京スカイツリーが見える。</p>	<p>川辺にたくさんの鳥が羽を休めている。優雅に水面を泳ぐ鳥達の姿があり、自然と人間の共生を感じられる景観である。</p>	<p>堤防上に腰丈ほどの一つの石碑がポツンと立っている。かつて舟運で栄えた町の歴史を感じる。水の神の信仰を伝える重要な石碑である。</p>
<p>8 白彼岸花の花壇</p>	<p>9 -1 富士下橋</p>	<p>9 -2 富士下橋</p>
		
<p>市の「川と街をきれいにする運動」により、堤防上に珍しい白い彼岸花が植えられている。秋には白い花を見るために人々が訪れる。</p>	<p>新河岸川に掛かる富士下橋は吊橋形式の橋梁である。橋梁の支柱は、樹木のように周辺の景観と調和している。</p>	<p>富士下橋は歩行者専用に使われ、中央部からの眺望は見事な景観である。</p>
<p>10 富士下橋からの眺望</p>	<p>11 遊歩道</p>	<p>12 昆虫のすむ池</p>
		
<p>柳瀬川と新河岸川の合流地点では河川景観が広がる。</p>	<p>堤防上の未舗装の道は、流れに沿ってカーブを描き遊歩道となっている。沿道には桜並木が続き春には見事な景観が見られる。</p>	<p>写真の斜面地とビオトープの池は志木市に寄贈された土地で、現在では環境的にも景観的にも貴重な自然資源として醸成している。</p>

<p>13 -1 田子山富士塚</p>	<p>13 -2 敷島神社</p>	<p>14 福祉施設</p>
		
<p>敷島神社の境内には高さ10m程の小高い山があるが、現在は登れない。頂上には小さな社が見え、斜面には石碑などが配され富士山信仰の場となっている。</p>	<p>敷島神社の隣地に幼稚園があり、広い境内は子供たちに公園のように利用され憩いの場を提供している。</p>	<p>船の形をイメージさせるガラス張りの外観で、鉄骨の骨組みが目目を引く近代的建物の福祉施設である。</p>
<p>15 時計台</p>	<p>16 引又観音堂</p>	<p>17 引又河岸跡</p>
		
<p>新河岸川の堤防下にある高さ4m程ステンレス製の時計塔。</p>	<p>新河岸川の堤防に馬頭観音と聖観音を祀る小さな祠がある。</p>	<p>綾瀬川と新河岸川の合流地点近くに又引河岸跡の標柱がある。現在の穏やかな流れからは往時の賑わいは想像し難い。</p>
<p>18 旧村山快哉堂</p>	<p>19 志木市役所</p>	<p>20 いろは樋の大榭</p>
		
<p>古く瓦屋根、灰色にくすんだ外壁、屋根に掲げられた木の古い屋号看板が印象的な蔵造りの店舗。軒下に見える太い桁木、大阪戸が目を引く。</p>	<p>柳瀬川と新河岸川の合流地点近くに位置する緩やかな曲線が特徴的な市庁舎。</p>	<p>赤いレンガと石で積まれた四角の大榭が残されている。榭からは黒く太い鉄管が突き出ており興味深い。</p>

<p>21 -1 ポケットパーク</p>	<p>21 -2 ポケットパーク</p>	<p>22 旧西川家潜り門</p>
		
<p>ポケットパークにいろは樋の模型と説明資料を展示するという発想がユニークである。地元の歴史等に興味を持たせ、自然と学習できる場である。</p>	<p>歴史的な土木遺産(いろは樋)を屋外模型展示しているのは珍しい。模型はいろは樋の仕掛けと通りの風景が再現されており興味を引く。</p>	<p>通りに面して瓦屋根がある立派な潜り門が保存されており、往時街道の繁栄ぶりを偲ばせる。</p>
<p>23 蔵</p>	<p>24 店舗</p>	<p>25 住宅</p>
		
<p>現代の建物であるが、タイル張り風の古風な蔵造りが目を引く。</p>	<p>蔵造りの瓦屋根が印象的な店舗である。リニューアルされているが、瓦屋根の漆喰、軒下に見える垂木の並びも目を引く。敷地の奥には蔵が建っている。</p>	<p>大きな瓦屋根、木の格子が木立越しに見え、目を引く。</p>
<p>26 石畳のアプローチ</p>	<p>27 店舗と蔵</p>	<p>28 店舗</p>
		
<p>植栽が綺麗に手入れされ、石畳のアプローチには蔵が建ち並び壮観である。</p>	<p>軒が高く、大きなガラス戸が印象的な店舗である。敷地の奥に建っている蔵も目を引く。</p>	<p>高い瓦屋根、2階窓の鉄格子、そして、木製の大きな屋号看板に、歴史を感じる造りの薬舗。</p>

<p>29 店舗</p>	<p>30 店舗</p>	<p>31 店舗</p>
		
<p>瓦屋根と漆喰そして軒下に見える垂木の並びが印象的な蔵造りの店舗。</p>	<p>広い瓦屋根、2階の木の格子、1階の大きな木枠のガラス戸が印象的な蔵造りの店舗。</p>	<p>現代の建物の中に古風な和の感じを出している。</p>
<p>32 鎌倉街道</p>	<p>33 -1 店舗</p>	<p>33 -2 店舗</p>
		
<p>広い車道と広い歩道がきれいに整備された街道。電柱が無く、空が広く感じて気持ちが良い。交通量が多く賑やかな街道の様は、往時を偲ばせる。</p>	<p>通り沿いに少し残っているレンガの赤い塀の店舗が印象的。店舗1階のガラス戸と2階窓の木の格子及び木の手摺がある店舗も目を引く。</p>	<p>敷地の奥には古い瓦屋根と窓の分厚い扉が印象的な蔵がある。</p>
<p>33 -3 店舗</p>	<p>34 住宅</p>	<p>35 蔵</p>
		
<p>通りを挟んだ店舗の向かい側には白い土壁、木の格子の蔵のような長屋門があり、潜りの間から中庭が望め、興味深い。</p>	<p>瓦屋根、2階窓のこげ茶色の木の格子と戸袋が目を引く。</p>	<p>白い壁、その壁に付いているカギ形の金具が目を引く。</p>

<p>36 住宅</p>	<p>37 馬頭観音</p>	<p>38 -1 宝幢寺</p>
		
<p>瓦屋根の背の高い造りの母屋が印象的。軒下に見える白い壁、垂木も目を引く。</p>	<p>住宅街の通りの角に大きな石柱の碑が1基ポツンと立っている。</p>	<p>立派な木戸の山門が目を引く。山門をくぐり、石畳の参道の先、銅板葺きの屋根の大きな本堂がある。境内の木立と相まって穏やかな景観を作り出してる。</p>
<p>38 -2 宝幢寺</p>	<p>38 -3 宝幢寺</p>	<p>39 -1 長勝院旗桜</p>
		
<p>山門前の通りを東に行くと大きな長屋門がある。灰色の大きな瓦屋根と白い壁、また木戸と腰壁の材木の色が印象的である。</p>	<p>境内には桜、ヒマラヤスギ、ケヤキ、梅等の大木が立ち並び、穏やかな中にも力強い雰囲気を感じる。河童の石像がある。</p>	<p>住宅街の細い通りの奥まったところの長勝院跡に柵に守られ桜の古木が立っている。長勝院で発見された新種の桜である。花卉が旗に見えるので「長勝院旗桜」と名付けられた。</p>
<p>39 -2 旗桜の花卉</p>	<p>40 館氷川神社</p>	<p>41 志木駅前の河童の石像</p>
		
<p>桜の花は普通5枚の花弁だが、旗桜はそれ以外に1枚か2枚の花弁をもつ花をつける(5~10個に1つ)。旗に見える花卉はおしべが変形したものである。</p>	<p>少し小振りな銅板葺きの鳥居の先、石畳の参道の奥に、大木に囲まれ社殿がある。住宅街の中に、落ち着きを感じる空間だ。</p>	<p>駅前ロータリーの一角に、水の流れる樋のモニュメントと隣り合わせに、3体の河童の石像があり面白い。志木市内では多くの場所で河童の像が見られる。</p>